

KANAGAWA



社団法人 神奈川県建築士事務所協会

URL <http://www.j-kana.or.jp/>

E-mail info@j-kana.or.jp

2010 年
7 月号

VOL.345



HP情報

- 建築基準法取扱基準等の施行について
- 平成22年度「木のまち整備促進事業」の提案の募集開始について
- 平成22年度「調査・研究助成」、「第1回普及事業助成」の募集開始について



目次

- | | |
|----------------------|----------------------|
| ① 建築探訪 | ⑨ 知って得する木造住宅の知識 (8) |
| ③ 川崎支部創立60周年記念式典開催報告 | ⑩ 理事会報告 |
| ⑤ 戸塚西口再開発 | ⑪ 神事協 歌壇・俳壇
旅のクイズ |
| ⑥ 会員建築作品紹介 | ⑫ 新入会員紹介 |
| ⑦ 歴史的建造物を訪れて | 読者の広場 |
| ⑧ シリーズ名経営者の建築と風水 (7) | |

『旧近藤邸』

藤沢支部 遠藤 世一

藤沢市の市民会館前庭に「旧近藤邸」という建物が保存されています。もともとは関東大震災直後の1925年(大正14年)に近藤賢二氏が辻堂東海岸に別荘として建てたものですが、所有者が代わり老朽化に伴って取壊しが決定していたが、地元の主婦を中心とした保存運動の末、1

2階は片側に畳の部屋が配置されている。居間は庭に向かって一面に窓が開いているが、造りつけの長椅子と棚により落ち着いた空間である。和室は板敷きを周囲に設け、机や棚を造りつけ、壁を大壁とし、天井まで漆喰塗りとするなど洋間や廊下と仕上げをそろえている。



庭にはテラスにパーゴラを設け、屋上にも2階の隅と暖炉の煙突を格子でつないで囲った場があり、屋外で休暇を満喫していたであろう様子がうかがえる。欧米の影響を受けていた当時に近代の生活、近代の住み方を示唆してくれるような建て方であり、和と洋、外と内とが混然一体となって新しい効果を生み出した建築である。また、建築当時は関東大震災直後の影響もあり、できるだけ軽い建物となるように、屋根は栗こば

年余りという短期間に保存が決定し1981年(昭和56年)に移築されました。

当時の和洋折衷の代表的な建物といわれているこの建物を設計したのは遠藤新(あらた)氏です。遠藤新氏の言葉に「地所が建築を与えてくれる……そこの自然に合わせて物をつくる」とあるように、この建物は辻堂の平坦な砂地の松林に合わせた高さにされていた。大谷石の暖炉のある居間を中心とし、1階は両側に、



葺き(現在はスレート葺きになっている)、構造は軸組工法ではなく2×4工法を採用しており、外壁の仕上材もが一体構造となる様に考えられている。

2002年(平成4年)にかながわの建築物100選に選ばれ国登録有形文化財に登録された。

ここで、建築主であった近藤賢二氏について触れておきます。同志社大学で体得したキリスト教信仰と語学力を活かし、北海道の牢獄教戒師として犯罪人の感化事業に挺身し、日清事変の際には台湾総督府初代総督後藤新平の秘書官として敏腕を振るった。この時まだ20代である。その後数々の企業の重役を歴任し、この別荘を建築した当時は51歳で、朝日スレート(株)、朝日石綿工業(株)(ともに現在のエーアンドエーマテリアル(株))の代表を兼任しており、震災後の復興に

寄興し、建築材料や保温絶縁材を日本の市場に提供した。その後は数々の銀行や企業の破綻に伴う整理収拾に敏腕を振るい、地方財界の救済に尽力した。こうした功績が認められ、晩年には紺綬褒章を受章し実業家としての名誉を博した。

遠藤新氏はF・Lライトに師事し、帝国ホテ



ルの設計に携わった事で著名ですので説明は不要ですが、この「近藤邸」はこの時期の遠藤新氏の様式を典型的に示すもので、ライトの有機的建築を受け継ぎ、わが国の生活と風土に合った独自の様式をつくりだし、椅子と畳の生活を融合した戦前の住宅の傑作であり建築当時の姿をよくとどめた数少ない例の1つとされています。

表紙のことば

「旧近藤邸」 藤沢市民会館の前庭にあります。市民会館の受付で署名すれば見学は無料です。見学時間9:00~17:00。月曜日・休日の翌日・年末年始は休館です。

～ 川崎支部創立 60 周年記念事業 開催報告 ～

周年記念準備会とアイデア出し

60 周年記念準備会 田中 成佳

準備会は、通常の役員ではない会員を中心に構成することを支部理事会から求められて、何とか10人程にお願いして立ち上げました。

顔は知っているものの、あまり話をしたこともない会員が集まっての会議。こういうときにはゲーム感覚で強制的に、全員に発言させるブレインストーミングが役立つかと思いやってみました。もう一つは黙々と4分に3つのアイデアを書き続ける、ブレインライティング。それぞれ60個、と140個のアイデアが搾り出されました。それを評価し上位5%程度を抽出。また下

位であっても共通するものを拾って「川崎の」「小学生」「音楽」「写真」「タレント」などが浮かび、市が進めている映像のまちづくりに基づいた小学生の制作した映画上映を核にしたパネルディスカッションというところに落ち着いてきました。

ささやかなイベントでしたが、本当に多くのご尽力で、一般の方30名近くを含む150人の参加をいただき、祝賀会ともども無事に終了しました。

支部創立60周年記念事業を終えて

川崎支部 吉田 宣郎

3



白井支部長はじめ、準備会の方々、田中委員長お疲れさまでした。

昨年から着々と下準備をしてきました。まだまだと思っていたその日(5月28日)がやってきました。関係者スタッフは朝8時45分に川崎市産業振興会館の玄関に集結。事務局や役員さんたちは前日までの準備でもうヘトヘト。さあ当日は、白井支部長の挨拶でスタートです。

『こども映像シンポジウムかわさき』の会場は1階ホール、定時総会と懇親会は4階の企画展示

場。そして展示品やテーブルなどの家具は地下1階から1階と4階に運び込む。ほとんどの段取りは支部役員と準備会のスタッフで行う。支部長や役員の号令で着々と準備は進められた。ある人たちは総会場のイスを並べたり、演壇の位置に悩んだり、懇親会会場ではテーブルの配置や屏風の位置で図面と睨めっこしていたりと慣れないことを必死にやっていました。

さて、いよいよ定時総会の始まりです。時刻はAM10:30、粛々と昨年の事業報告と決算報





告、そして今年の事業計画と予算案の承認。いずれも無事承認を受け総会はAM12:00に終了。ここで、イスや演壇を片付け、支部から支給されたお弁当を持って、ある人は懇親会用のテーブルを囲んで、またある人は会場の外のテラスでおいしくいただき、しばしのんびりできました。

さて、いよいよ午後からは本当の本番。1階ホールに来賓や一般の市民が。また、阿部市長や『映像のまち・かわさき』推進フォーラムの方たち、各メディアとたくさんの方が見え、予想以上の人数に役員一同ホッとしていました。

PM1:30から第1部『こどもたちが作った作品』川崎市立川中島小学校オリジナルムービー

3本、川崎市立はるひ野小学校の学校紹介ムービーを上映しました。川中島小学校の1本にはちょうど宇宙ステーションに滞在中の野口宇宙飛行士が宇宙から出演したこどもたちの映画もありました。

そして、第2部『パネルディスカッション「映像と教育」』と題して、この2校の映画の監修をされた映画監督の橋本信一氏、土持幸三氏と川中島小学校の榊原校長が市職員の進行でPM3:15までパネルディスカッションが進められました。こどもたちの行動の意外な発見や徐々に映画づくりに夢中になっていく様子などを語っていました。

そして、この日最後は4階へ移動し、懇親会会場で和やかな宴が始まりました。途中アトラクションで韓国の大変きれいな女性歌手の歌を聴きますます盛り上がりPM6:00に無事終了しました。

川崎支部創立60周年記念事業を振り返って、本当に多くの方々に来訪していただきありがとうございました。行き届かないことも多々あったかと思いますが、予想以上の方々の来訪のためか懇親会での料理や飲み物がすぐ無くなってしまいました。役員の反省会では見通しの甘さの指摘がありましたが、皆様の心暖かい気遣いで何とか無事終了することができました。大変ありがとうございました。



戸塚駅西口再開発顛末記

横浜支部 高橋 保博

今年の4月2日にグランドオープンした大型商業施設「トッカーナ」はJR戸塚駅西口の再開発事業の第一段階として完成した。地元商店エリアと専門店エリアで構成されている。隣のゾーンには個別ビル群で構成される「戸塚パルソ」が同時にオープンした。

「戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業」は平成6年に都市計画決定したが社会情勢などにより事業は難航した。

ある縁で私は3年前の平成19年3月からこの事業に関わるようになった。再開発地域には共同ビルゾーンと個別ビルゾーンがあり、12棟からなる個別ビルゾーンのまちづくりと建築設計が依頼内容であった。チームを作って作業にあたることになった。まちづくり活動に実績がある設計者7人を選定した。

まちづくり

元町、大倉山、元住吉、自由ヶ丘、汐留イタリア等のまちづくり例を見学してコンセンサスを練っていったということになった。見学会のたびに、検討会を開いて、まちづくりコンセプトの議論をつめていった。

メンバーのまちづくりの経験は議論を深めるのに欠かせない要素であった。

画一的にデザインを合わせるといような統一感を強制することなく、地域になじむ「ゆるやかな統一」という概念が出来あがっていった。

初めに基本的なまちづくりルール策定した。外壁の色彩の統一(オフホワイトやアースカラー)やアクセントカラーの導入、看板の設置場所やサイズのルール化、歩行者空間の確保などが主な内容だった。

建築設計

まちづくりルールの策定と並行して建物の基本設計、実施設計を進めていった。再開発の管理処分の関係から、従前の資産による権利床のしぼりは重要なファクターであった。それが計画をタイトなものにした。当初は1mも異なることが許されない状況だった。並行して進めていたまちづくりでも地権者から具体的な要望が出てくると調整が難しい局面が多く出てきた。看板を例にすると企業イメージとしての社内ルールがあり、大きさや色彩が突出する危惧があった。まちづくりルールの意義を強調し協力を再三要望した。



全体模型



外観図

「まちづくり協議会」

まちづくりルールを制定し運営管理するには「まちづくり協議会」の設立は不可欠であった。規約を策定し何度も推敲して書き換え最終案を総会で審議し承認を得た。理事長以下各役員が決定され正式に平成21年3月に「まちづくり協議会」が発足した。まちづく

りルールも正式決定された。

あとがき

3年にわたる作業のなかでやり残したことが多々ある。また再開発の難しさを痛感した。そしてチームで作業することの楽しさと難しさを実感した。

第二段階として公益施設（区役所や区民文化センター）が平成24年度完成の予定である。再開発地域の施設が街の発展に寄与することを切に願っている。これからもなんらかの形で関わっていききたいと希望している。

会員建築作品紹介

TOTSUKA
PALLSO 戸塚パルソ
TOTSUKA PALLSO

7号棟「ブルーゲートビル」

横浜支部 (有)アルタック 高橋 保博



7号棟外観

■計画概要

用途：店舗・診療所・共同住宅

構造：鉄骨造5階建

建築面積：150.88㎡

延べ床面積：550.20㎡

個別活用ゾーンで唯一3人の地権者が所有者となる建物である。プランニングにおいて各地権者の権利分の割り当ての調整が一番苦労した作業であった。またすべてが自己使用部分のため、内装設計者や内装施工業者との調整が早い段階から必要であった。

外観で2階のゲート状の部分が建物の特徴つけている。地区計画で1階はセットバックしたが、他棟は容積を目いっぱい使うため2階以上は下がっていない。7号棟は管理処分の関係で容積を余らせた計画であるため2階以上もセットバックした計画になった。少しでも壁面を揃えるというまちづくりの趣旨に沿うようゲートを考えた。横浜を意識してベイスターズブルーに塗られた。

建物は地権者3人の共有であるため管理組合を組織し管理規約を作成した。

建物をどのように管理していくかが今後の課題である。

事務局からのお知らせ

管理建築士講習・建築士定期講習 受講のご案内

当協会では現在、管理建築士講習（第三期）並びに建築士定期講習（第三期）の受講申込を受付中です。いずれも、経過措置の適用期限（管理建築士講習は平成23年11月27日、建築士定期講習は平成24年3月31日）が迫ってくると、受講を希望される方が過度に集中し、希望される講習会場での受講が困難になることが予想されます。該当される方はなるべく平成22年度中に受講をされますようお願いいたします。

○講習日及び講習地

■管理建築士講習 講習日：平成22年11月29日（月）

■建築士定期講習 講習日：平成22年10月26日（火）

（いずれも、講習会場：パシフィコ横浜アネックスホール 定員：500名）

※申込方法、受付期間等の詳細は当協会ホームページにてご確認ください。

尚、管理建築士講習（第四期 講習日：平成23年2月23日）は11月に受付予定です。

「旧三井守之助大磯別荘」解体保存顛末記

横浜支部 森山 恒夫

大磯は、南北を相模湾と丘陵地に挟まれ、江戸時代までは宿場町として、明治以降は別荘地として発展した町である。

旧三井守之助大磯別荘は大磯駅から至近に位置し、岩崎弥之助別荘（現エリザベスサンダースホーム）に隣接する。この地は大磯の中でも極めて早い時期に別荘地化した地であり、樹齢を重ねた豊かな緑や石積みの擁壁などが残る。

初代別荘は明治41年に建てられたが、大正12年9月の関東大震災を契機にして昭和2年に建て替えられた。設計は木子幸三郎がおこない、東京都立中央図書館木子文庫に約250枚の図面一式が所蔵されている。発見された棟札から清水組が工事を行なったことも判明している。旧三井守之助大磯別荘は、木子幸三郎が得意とした邸宅建築を代表するものの一つであり、内部は和風を主とする構成でありながら、外観を洋風とする意匠である。和風建築、洋風建築いずれにも精通した木子幸三郎ならではの極めて貴重な建物といえる。

ところが、ここにマンション計画が持ち上がり、この別荘の素晴らしい魅力に出会った人々は、何とか残そうと全力で保存運動に取り組んできたが、残念ながらその願いもむなしく、この建物は消えて



外観



内部

しまうことになった。

事業主との粘り強い交渉の結果、建物の無償譲渡が実現した。延べ270余人のボランティアの協力で約1ヵ月という期限付きであったが、宮大工の力を借りながら部材を解体し保存作業が行なわれた。

現れた頑丈な木造躯体と、隅々にいたるまで丁寧な施工と耐震性を考慮した金物使用に感心し、完ぺきな姿を残していたことが判明する。長さ5間の棟木、構造材、造作材、建具、ステンドグラス、欄間、木製シャッターなどを丁寧に取り外す。短すぎる1か月が経過し、残念ながら解体作業を終了した。

我々の手で、数か所に分散して保存されたこれらの部材が再び組み立てられて、多くの人々の前に現れる日を夢見ている。今後、話題に上がると思われる三井守之助大磯別荘に注目して欲しい。

参考（旧三井守之助大磯別荘調査報告書・旧三井守之助別荘物語）邸園文化調査団発行



小屋組



木製シャッター



ボランティアの手で下ろされる棟木

シリーズ 名経営者の建築と風水 (7)

<ビル・ゲイツ氏に学ぶ> (マイクロソフト社共同創業者・会長)

県西支部 稲葉 勉

ビル・ゲイツ氏といえばマイクロソフト、ご存じのように世界最大のコンピュータ・ソフトウェア会社です。彼は1955年10月にアメリカのシアトルで生まれ、13歳から早くもコンピュータの魅力にとりつかれ、単なるパソコンから情報ハイウェイへと今日の情報化社会の基盤をつくりだした。卓越したアイデアに加え、大胆な経営手腕と飾らない人柄で時代の最先端を今も歩んでいます。15年前に出版した「ビル・ゲイツ未来を語る」で予測した通り、パソコンをポケットで持ち歩き、映画、音楽の電子配信、チケットの予約、会社での世界を結ぶインターネット会議など、現実には世の中がついてきています。まさに「夢を実現」しているすごい男です。私より5ヶ月ほど早く誕生しただけの違いですが、同じ人間でもスケールが違います。こちらはマイクロソフトのウインドウズのOSとワードのソフトを使って原稿を打ち込んでいるし、建築・測量の仕事でもCADからインターネット、電子メール、そのソフトを何とか使いこなせないと仕事ができないのですから。私たちは彼のつくり出した夢の恩恵に預かっているとも言えるし、経済的にはソフト使用料として小さな課金の積み重ねが、6兆円ともいわれる彼の巨大な資産（世界一）の源流として吸い取られているともいえます。ですから彼の行動はとても他人ごととは思えません。

マイクロソフト社は知らずに実践？

草創期のマイクロソフト社がインド風水ヴァーストゥを実践していたようです。1983年の同社の最初の自社ビル（ワシントン州ベルビュー）がインド風水ヴァーストゥに基づいて設計されていたという記事がありました。

（以下インターネットより一部抜粋）

実は、社員はまったくこの事実を知りませんでした。驚くべきことに社長のビル・ゲイツさえも知らなかったのです。なぜかという、依頼された設計者がインド風水に基づいているということをとくに説明せずに設計したからです。最初のOSを発表したのは1980年、WORDを発表したのはやっと1983年。つまりこの時期は同社の飛躍にとって非常に重要な時期であったわけです。そして、その後の飛躍の中心となる200名程度の従業員は知らない間にインド風水ヴァーストゥを実践していたのです。

その後の同社の発展はご存知の通りです。このインド風水ヴァーストゥは中国風水の起源ともいわれています。

1. 自然に逆らわず、調和することによって自然の恵みを最大限取り込むことがインド風水ヴァーストゥの大原則である。
2. インド風水では、東からの太陽の力と北からの地磁気の力を重要な要素としている。この原則を睡眠に当てはめると、絶対に北枕を避け、それ以外の方位、特に最も有益な南枕にすべきであり、これによって深い癒しと休息が得られる。
3. 間違った家具の配置は、心地よくあるべき住環境に不必要なストレスを与えると考えられ、例えば軽い家具を部屋や建物の北東側に、重いものを南東側に置き、また、エネルギーの流れをよくするために、家具を壁からすこし離すべきである。
4. インド風水には、地、水、火、風、空という5つの基本的なエネルギーがある。最もバランスが取れるのは、長方形あるいは正方形であり、それに沿えば、努力、健康、人間関係、仕事などは上手くいくが、その形が一部でも欠けるとエネルギーが滞り、各人の持っている能力が十分に発揮できない。
5. 植物、鏡、色彩などもわれわれの感情や肉体に影響を与えている。

マイクロソフトにはインドからの優秀なコンピュータ技術者が多くいますので風水といえばこのインド風水の方が身近なのかもしれません。

おすすめの著書 『ビル・ゲイツ未来を語る』

この本では初めの謝辞から彼の人柄を感じさせる。出版に際しお世話になった人の名を書くことはよくあるが、「私ひとりの力ではとても書き上げられなかった・・・うっかり誰かを書き漏らしていたしたら、まことに申し訳ない、その方にも感謝を捧げる。」と前置きした上に64名の個人名と各スタッフを細かく記し、助力いただいたお礼を述べ感謝している。きっとこの人柄が世界を動かしたのだろう。私も本を出すときには参考にしよう。（笑）



知って得する木造住宅の知識 (8)

設計基準による壁量の扱いについて

大和綾瀬支部 高橋 国彦

木造住宅の地震時の安全性確保の方法として用いられている壁量には（表1）に示すように、基準法、品確法、既存建物の診断法等の間にばらつきが見られる。それらの違いは設計法の生い立ちや適用範囲の違いなどによるものであると思われる。それぞれの違いを知り、目的に応じて適切に使い分けることが大切であるとする。一般診断法では安全率を高めに設けている為、壁量が多めに設定された結果、数値的には精密診断法と近い値になる。

建築基準法、告示1540号の壁量を基準に品確法や耐震診断と比較してみる。

軽い屋根（軽い建物）では

品確法 1階 1.24倍 2階 1.31倍

耐震診断（精密） 1階 1.27倍 2階 1.31倍

重い屋根（重い建物）では

品確法 1階 1.41倍 2階 1.30倍

耐震診断（精密） 1階 1.42倍 2階 1.33倍

耐震診断では軽い建物の1階では基準法の規定より約1.27倍程度の壁量、重い建物の1階では1.42倍程度の壁量が必要になる。

表1 単位面積当たりの壁量の比較 (cm/m²)

	軽い屋根 / 軽い建物		重い屋根 / 重い建物	
	1 階	2 階	1 階	2 階
基準法 / 告示 1540	29	15	33	21
品確法（壁量）	36	19.7	46.4	27.4
耐震診断（一般）	42.3	18.4	54.1	27
耐震診断（精密）	36.7	19.6	46.9	28.0

信州大学五十田准教授の資料引用

耐震診断、補強設計に該当する建物は概ね1959年～1981年間のもので築年数は51年～30年である。中にはさらに古い建物もあるが、そのようなケースはまれである。

当時の壁量の変遷（表2）、筋かい壁倍率の変遷（表3）を参考にして、基準法告示1460号に基づいて考えてみる。

1階では $24/33=0.73$ 、（二割割の場合の倍率評価は3となっており補正すると $0.73 \times 2/3=0.49$ ）

2階では $15/21=0.71$

表2 単位面積当たりの壁量の変遷 (cm/m²) () は軽い屋根（建物）

制定・改訂年	1950 年（昭和 25 年）	1959 年（昭和 34）	1981 年（昭和 56 年）
2 階部	12	15	21(15)
1 階部	16	24	33(29)

表3 耐力壁（筋かい）の壁倍率の変遷

制定・改訂年	1950 年（昭和 25 年）	1959 年（昭和 34）	1981 年（昭和 56 年）
30 × 90（三割割）	2	1.5	1.5
45 × 90（二割割）	3	3	2

耐震診断では基準法を基にして既存建物の壁量を考えると、1階では73%程度であり、2階では71%程少なく配置されていることになっている。既存を基準にすると1階では $1.42/0.73=1.95$ 倍になる。接合部仕様、基礎仕様による低減率、0.7～0.9で除すると、 $1.95/0.7 \sim 1.95/0.9=2.79 \sim 2.17$ になる。さらに下屋、上屋の配置により低減が加算された結果、現状の壁量の2.2～3.0倍程度以上の壁の配置が必要となる。

例題で検証してみると

昭和50年築、軽い建物、1階床面積46.4m²、2階床面積26.5m²

基礎Ⅱ、接合部Ⅱ、補強では既存面材の評価は壁基準耐力仕様に基づいた。

壁量ベースに換算して比較してみる

	必要壁量 (m)		構造評点 (一般診断法)	
	旧 基準 法	耐 震 診 断	現 況	補 強 後
2 階	3.9 m	16.4 m	0.69	1.30
1 階	11.1 m	32.8 m	0.50	1.12

実際には、補強前後では2階は $16.4/3.9=4.2$ 、1階は $32.8/11.1=2.95$ となる。既存の耐力壁の改修補強だけで補強量を確保することは難しく、筋かいの無い壁を補強する必要が出てくる。上屋に比べて下屋の面積が大きい場合は、上屋から下屋部への抑え込み効果が期待できず、2階建の場合の1階部より低減率が大きくなる為にさらに耐力壁が必要となる。診断法では壁強さ倍率の小さいものを全体に配置することが望ましいとしているが、現実には壁強さ倍率の大きい耐力壁を配置せざるを得ない。さらに不足する場合は開口部を変更して耐力壁を増設しなければならないなどのケースも見られる。

社団法人神奈川県建築士事務所協会 **平成 21・22 年度 第 7 回・理事会概要**

日 時：平成22年6月10日（木）

14：00～17：00

会 場：（社）神奈川県建築士事務所協会 2 階会議室

出席者：別紙

- ・ 会長挨拶 上原会長
- ・ 定足数の確認 25名中21名出席のため定款第32条により会議成立を報告
- ・ 議事記録署名人選出 棕・野路

1 議決事項

（報告事項）

- 第1号報告 会員（5月）の入退会承認についての報告（入会1名、退会4名）
- 第2号報告 建築士事務所登録についての報告（4、5月の新規登録79件）
- 第3号報告 神奈川県建築安全協会役員・評議員の推薦についての報告
- 第4号報告 日事連建築賞・建築作品応募申込についての報告
- 第5号報告 かながわ住まい・まちづくり協会後援名義使用についての報告（第3回住まいのバリアフリーリフォームコンクール）
- 第6号報告 職員解雇に係る「団体交渉申し入れ書」の対応についての報告

（審議事項）

- 第1号議案 正会員（6月）の入会について承認を求める件
- 第2号議案 「懲戒規程」の一部改正について承認を求める件
- 第3号議案 平成22年度年次功労者表彰候補者の推薦依頼について
- 第4号議案 「公益法人制度改革対応専門委員会」設置について承認を求める件
- 第5号議案 平成22年度会員増強大キャンペーン期間における入会金の免除について承認を求める件

2 報告事項

- （1）日事連報告
- （2）各委員会報告
 - 1) 総財務委員会
 - 2) 技術調査委員会
 - 3) 企画業務委員会
 - 4) 広報情報委員会
 - 5) ブロック支部委員会
 - 6) 設計監理指導委員会
 - 7) 耐震診断業務特別委員会
 - 8) 建築物耐震改修評価特別委員会
 - 9) 「住・緑・家」運営特別委員会
 - 10) 木造特別委員会
 - 11) 委員長会

（3）その他

- 1) 行事日程等について
 - ・ スポーツ大会（ボーリング）
平成22年10月16日 江ノ島ボウルにて
 - ・ 来年の3会合同賀詞交歓会
平成23年1月21日 幹事会：神事協
- 2) 配布資料
 - ・ 神奈川建築コンクール

※詳細は当協会ホームページをご覧ください。

第7回 神事協 歌壇・俳壇

【俳句】

紫陽花やひと雨ごとに色彩^{いろ}冴えて

(相模原文部 小林忠志)

あじさいのつぼみが運ぶくもり空

(横浜支部 良酔)

はや足に木漏れ日揺れる散歩道

(事務局 走友)

病窓の空に元気に燕飛ぶ

(川崎支部 雲休)

【短歌】

幾とせと護りつたえた数島は大御心に大和魂

(相模原文部 小林忠志)

恒例の緑のカーテンのびやかにゴーヤの花の黄色が可憐

(横浜支部 良光)

梅雨の間の眩しい光が目には痛いほんの束の間夏を感じる

(横浜支部 良光)

うつろげな吊り広告の美人の目心を打たぬキャッチコピー

(事務局 走友)

【川柳】

菅さんは眠からさめて民のため

(横浜支部 良酔)

さあ走れ俺だけ座る座席取り

(事務局 走友)

? 旅のクイズ 第1回 ? ? ?

問題

写真をご覧ください。複線ですが、左側の線路は狭軌で右側の線路は広軌です。日本の中に2か所だけある珍しい風景ですが、何駅と何駅の間の線路でしょうか。路線名（共にJR）とあわせて2か所ともお答え下さい。



答えをメールまたはFAXにて事務局までお寄せ下さい。正解された方の中から抽選で1名様に図書カード3,000円分を差し上げます。（応募書式は問いません。）

FAX：045-212-3807 E-mail：noguchi@j-kana.or.jp

※締め切り：7月20日(火) 当選者は8月号にて発表予定です。

新入会員の紹介

入会されました会員のかたがたのプロフィールを紹介致します。

設問の内容

- ①故郷又は出身地はどこですか？
- ②得意とする業務の分野は？
- ③神奈川県内か、あなたの支部の地域の印象的な建物は？
- ④神事協やあなたの支部に期待していることは？
- ⑤あなたにとって、21世紀はどんな時代ですか？
- ⑥「モッタイナイ!」と思ってしまうことは？
- ⑦あなたの血液型は？

川崎支部

オフィス・タシロ二級建築士事務所

田代 喜美子
(22年5月入会)



- ①出身地は静岡県富士市です。
- ②専門は意匠設計と代願です。
- ③川崎市の北部にある「ノエビア」の建物です。
- ④建築士同士の結束です。
- ⑤いままで蓄積してきたことを外に発信していく時です。
- ⑥外食時に量が多くて食べ物（特にごはん）を食べ残したとき。
- ⑦B型です。

賛助会新入会員紹介

FSテクニカル株式会社 (担当：林 易俊)

平成22年4月入会

住所：〒125-0054 東京都葛飾区高砂1-22-15 TEL：03-5671-3134 FAX：03-5671-3090

従来工法の弱点を克服。 FST工法で建築物の外壁を守る。

FST工法は、従来の振動ドリルの欠点を解決し低騒音、低振動、無粉塵で穿孔し、樹脂注入作業においてはFSノズルの開発により多層空隙に対しても確実に樹脂注入を可能にしました。これにより最終工程のキャップ併用首太全ネジピンの使用をもって外壁改修工事の安全な施工ができるようになりました。

*弊社の技術・施工会員の詳細につきましては<http://www.fs-tec.co.jp/>をご参照下さい。

読者の広場

本の紹介『悩む力』

川崎支部 恩田 耕爾

最近、社会での会話に「私ども」、「手前ども」というような集団を代表しての言葉が少なくなったように感じます。明治維新以降、人と人は、宗教、伝統・習慣、文化、地縁、血縁、職縁により、自動的に社会の中ですっかり結び合わされてきました。現代は「われわれ」だったものは一つ一つ切り離されて、「私」という単体になってしまいました。「個人の自由」をベースにした「個人主義」の時代に生きています。堺屋太一さんに言わせると現代は趣味で結びついた「好縁社会」が社会を結び付ける集団として生まれると、その予見をされました。今がまさにそのような時代です。最近のNHKテレビでは無縁社会というテーマでいろんな角度から現代にメスを入れています。現代の特徴は「グローバル化」と「自由」と「平等」の拡大で、情報ネットワークとグローバルな市場経済の中で誰もがその豊かさや利便性に与り、誰もが夢の約束が取れる世に生きているように見えます。一人ひとりの拡大された自由は周囲の人々の拡大された自由とぶつかり合います。他者もやはり、主張したいし、守りたいし、否定はされたくないの、他者とのかわりかは表面的になり、本当の自分を隠しておくという方法をとるものも出てきます。作者は「自分の城」を

築こうとするものは必ず破滅するといっています。おおきなストレスの中で、キレル、投げ出す、引きこもる、あるいはうつになる。最悪の場合は自分の命を絶つようなことが日常的に発生しています。

そうであれば何を頼りに生きるのかが問題ですが、著者は夏目漱石、マックスウェーバーをヒントに最後まで「悩み」を手放すことなく真の強さを掴み取る生き方を提唱しています。最後に相互承認によってしか、自我はありえないと結論しています。

著書名：悩む力

著者：姜尚中

戦後、アメリカから導入された「自由」と「平等」にしても本場の欧米のものと少し違うのではと思います。欧米では絶対者（ユダヤとかキリスト）の前で個人は「自由」と「平等」がうたわれていますが、日本ではこの「絶対者」抜きでの話しに拡大されています。日本でも「平等」は社会規範の中での「自由と平等」が説かれたいいけないのではと思います。

会員異動報告

入会

横浜支部

寺田一級建築士事務所 寺田 稔
〒241-0816 横浜市旭区笹野台1-37-1
TEL.045-363-6445 FAX.045-363-6445

藤沢支部

タイヨー建設(株) 川村 哲夫
〒252-0826 藤沢市宮原1495-1
TEL.0466-48-4051 FAX.0466-48-5385

鎌倉支部

宇賀亮介建築設計事務所 宇賀 亮介
〒248-0025 鎌倉市七里ガ浜東3-3-5
TEL.0467-39-6590 FAX.0467-39-6591

厚木支部

山王建設(株) 蛭田 民雄
〒243-0812 厚木市妻田北1-12-6
TEL.046-222-3030 FAX.046-223-2877

退会

横浜支部

加藤建築事務所 加藤 義米

川崎支部

イトー一級建築士事務所 伊藤 善通

横須賀支部

(株)伊藤興業一級建築士事務所 菊地 正一

県西支部

井上功建築事務所 井上 功
貴松コンサルティング一級建築士事務所 松本 貴広

変更

横浜支部

スウェーデンハウス(株)一級建築士事務所(西)
(会員名変更) 曾根 康弘
(株)つくし建設一級建築士事務所(磯子・金沢)
(TEL・FAX変更) TEL.045-212-2710 FAX.045-663-3849

川崎支部

(有)ティーアンドエー設計事務所(中原)
(所在地変更) 〒211-0063 川崎市中原区小杉町1-403-60
小杉ビルディング新館903

横須賀支部

武藤二級建築士事務所
(所在地変更) 〒238-0035 横須賀市池上1-5-9
(株)里木アルファデザイン
(所在地変更) 〒239-0814 横須賀市二葉1-14-1 ポートヴィラージュ浦賀713
TEL.046-876-8041 FAX.046-876-8042

休会

鎌倉支部

(有)倉澤智建築事務所 倉澤 智
[休会期間:平成22年7月1日～平成23年3月31日]

賛助会会員異動報告

変更

(株)INAX首都圏統括支社 横浜支社
(担当者変更) 辻 登美雄
東京ガス(株) 神奈川住設営業部
(担当者変更) 我妻 由治

会 勢

平成22年6月11日現在

支部名	平成22年3月末日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	270	271	4	3	1
川 崎	94	94	2	2	0
横 須 賀	57	56	0	1	-1
湘 南 三 浦	22	21	0	1	-1
藤 沢	21	22	1	0	1
鎌 倉	31	32	1	0	1
茅ヶ崎寒川	16	16	0	0	0
平 塚	21	21	0	0	0
伊 勢 原	8	8	0	0	0
秦 野	17	17	0	0	0
大和綾瀬	22	22	0	0	0
厚 木	36	36	0	0	0
座 間	11	12	1	0	1
海 老 名	14	14	0	0	0
愛 川	8	8	0	0	0
相 模 原	87	87	0	0	0
県 西	51	50	1	2	-1
合 計	786	787	10	9	1
賛助会員	65	67	2	0	2

7月の行事予定

7月1日	総財務委員会
2日	企画業務委員会
8日	正副会長会 委員長会
14日	設計監理指導委員会
15日	技術調査委員会
20日	第3回JW-CAD(初心者向け)研修会 1日目
21日	ブロック支部委員会
23日	木造特別委員会
27日	第3回JW-CAD(初心者向け)研修会 2日目

編集後記

今年の夏はまたまた暑いのでしょうか。にかゴルファーとしては7、8月はこの数年ゴルフに行かないようにしています(つもり)。そういえば、今年の春はどこに行ったのでしょうか。秋は来るのでしょうか。暖かい冬と、暑い夏しか来ないのでしょうか。外国とは違い、日本には四季折々の風情がありました。これから生まれる子供たちは四季がわからない世代になるのか。昔の季節が感じられる日本に戻ってくると……。

(川崎支部 吉田 宣郎)

かながわ 平成22年7月号(通号345号)

定価420円(消費税込)

発行 平成22年7月1日(毎月1日発行)
 発行人 上原 伸一
 発行所 社団法人 神奈川県建築士事務所協会
 〒231-0032 横浜市中区不老町3-12
 第3不二ビル2F
 TEL. 045-228-0755
 FAX. 045-212-3807
 印刷所 株式会社 柏苑社

・ 担 当 副 会 長 小林 忠志
 ・ 広 報 情 報 委 員 長 佐藤 光良
 ・ 広 報 情 報 副 委 員 長 吉田 宣郎
 ・ 広 報 情 報 委 員 稲葉 勉
 ・ 恩田 耕爾
 ・ 後藤かをり
 ・ 竹尾 秀一
 ・ 野口 友弘
 事 務 局
 川島 良夫
 遠藤 世一
 小泉 厚
 杉崎 雅治
 新倉 良一

スライドドア・造作家具・他関連商品

 ハートフル
Heartful 2010
**高齢者福祉施設・医療施設
 高齢者賃貸住宅**

木のぬくもりが彩るやさしさ。

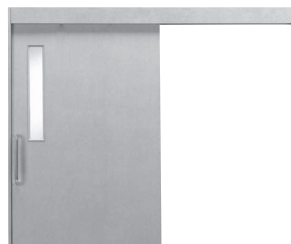
需要が増え続けている高齢者向け物件にA&Kがご提案する、研究と豊富な実績に裏付けされた“ハートフル”製品です。

高齢者が暮らすあらゆる空間で求められる“温かみ”や“やすらぎ”を、A&Kの原点でもある「木」のぬくもりが彩ります。

**Point 1****スチール枠製品の充実**

木製枠の引戸のみならず、強度のあるスチール枠と木製扉の組合せもご用意。耐久面に優れたスチール製の開口部材を求められるケースも増えてきています。

■木製枠 + 木製扉



やさしい木のぬくもりを枠からも扉からも感じることができます。

■スチール枠 + 木製扉



頑強なスチール枠と優しいぬくもりの木製扉の組合せです

**Point 2****高齢者賃貸住宅向け商品の充実**

高齢者向け優良賃貸住宅の基準となる段差や幅員、安全性などに適合した高齢者賃貸住宅向け商品を新たにご用意。バリアフリー概念をさらに進化させたユニバーサルデザインを実現します。



●お問い合わせ・カタログのご依頼は……

A&K神奈川地区 営業ネットワーク

横浜支店 〒246-0026 神奈川県横浜市瀬谷区阿久和南3-21-5

川崎支店 〒230-0071 神奈川県横浜市鶴見区駒岡2-18-36

相模原支店 〒252-0335 神奈川県相模原市南区下溝305

秦野支店 〒257-0031 神奈川県秦野市曽屋柳川原4731

TEL:045(362)5588(代) FAX:045(362)3388

TEL:045(580)8081(代) FAX:045(583)1844

TEL:042(777)6181(代) FAX:042(777)5195

TEL:0463(82)7311(代) FAX:0463(85)1240

Hamanetsu

建物を守る・資産を守る

FRP特殊技術防水工法

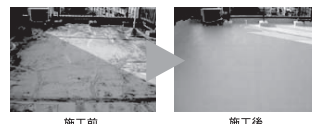
モレーヌ

水の事で困っていませんか？
ハマネツは全ての水漏れに対応いたします。
屋上・ベランダ・屋根・プール・各種水槽等施工の
対象物の条件にあった施工方法が可能なハマネツモレーヌ。
強度・仕上がり・短工期と三拍子そろった工法として、
大切な資産を永く、美しく守ります。

一般住宅の屋根・ベランダ・浴室から、
ビルの屋上・工場の屋根・床・水槽・薬槽まで

屋上改修工事

学校やビル、マンションの屋上に最
適な工法。

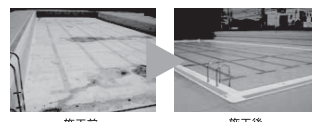


施工前

施工後

プール改修工事

ひび割れたり、色褪せていたプールが、
新品同様に生まれ変わります。学校・ス
イミングクラブ・家庭用プールに。



施工前

施工後

特殊工事

夏オープンしたばかりの横浜八景島
シーパラダイス新水族館（ふれあい
ラグーン）の壁パネル。



屋根改修工事

このパネルカバー工法なら、工期も短
く、美しく屋根をリフォームします。
アスベスト対策に最も適した工法。

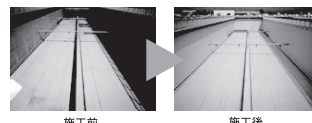


施工前

施工後

水槽改修工事

大切な飲料水をハマネツの技術で守
ります！



施工前

施工後

住宅ベランダ改修工事

安心の二重ライニングと10年保証。
信頼と信用の工法です。



施工前

施工後

短工期

低コスト

保証期間

専門作業員

自社一貫工事体制

お問い合わせは



横浜営業所

横浜市港北区新横浜 2-11-5 川浅ビル 5F

TEL 045-473-3388 FAX 045-473-3315

E-mail f-komatsu@hamanetsu.co.jp 担当：小松

賛助会会員の皆様へ 以下大募集中です!!

◆賛助会ホームページ <http://navi.nikkori-house.jp/kanagawa-sanjokai/Default.aspx>

（「神奈川県建築士事務所協会HP」のトップページ→「神奈川賛助会」から入れます）

本会の先生方限定のお得な情報（会員様限定の割引価格などなど）をHPに掲載（掲載費無料）

◆会報『kanagawa』原稿

こちらのページを新商品、新工法、また企業のPRにご活用ください!!（掲載費無料）

お問い合わせは…担当：広報委員 西村真一（三洋工業株式会社）

TEL：03-3685-3452 Mail：shi-nishimura@sanyo-industries.co.jp